

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

春江中学校

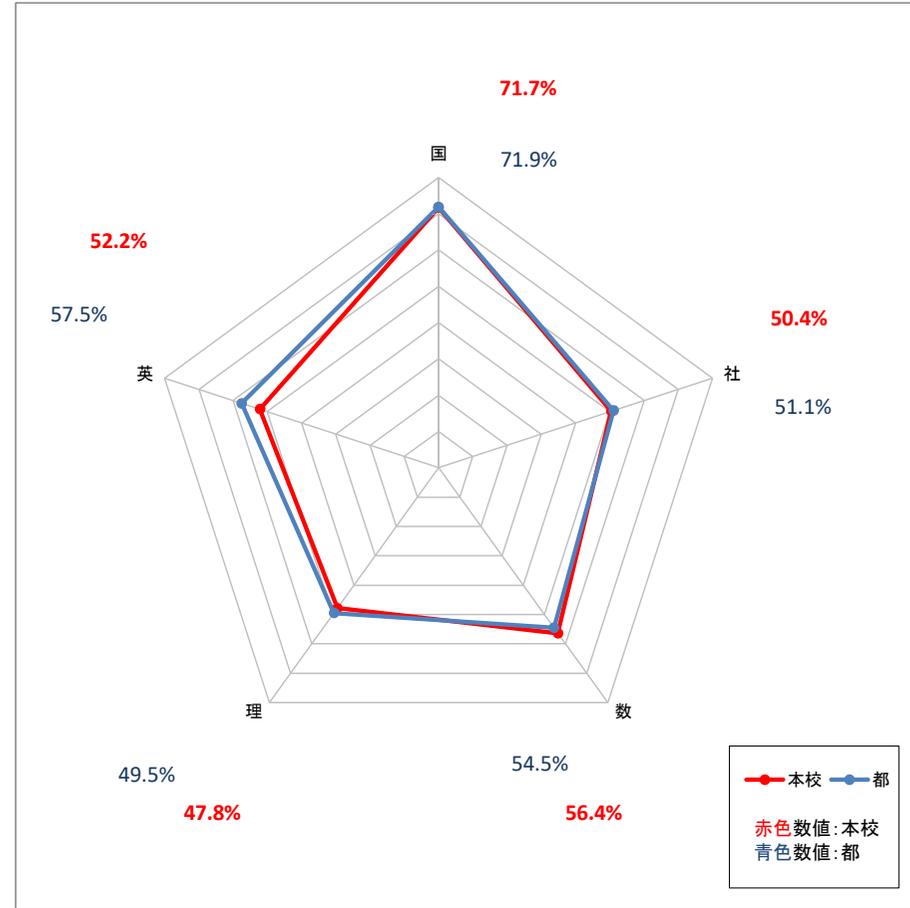
国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	74.8%	58.9%	79.3%	69.1%	71.9%
本校	74.1%	56.3%	82.0%	65.9%	71.7%
都との差	-0.7	-2.6	2.7	-3.2	-0.2

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	
東京都	48.7%	61.9%	41.1%	51.1%
本校	47.5%	61.7%	40.5%	50.4%
都との差	-1.2	-0.2	-0.6	-0.7

数学	教科の観点			教科の合計
	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	
東京都	31.4%	62.4%	63.3%	54.5%
本校	30.6%	65.1%	66.2%	56.4%
都との差	-0.8	2.7	2.9	1.9

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
東京都	43.9%	60.2%	47.4%	49.5%
本校	40.9%	61.3%	45.1%	47.8%
都との差	-3.0	1.1	-2.3	-1.7

英語	教科の観点			教科の合計
	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
東京都	46.1%	62.4%	59.2%	57.5%
本校	38.5%	58.6%	52.9%	52.2%
都との差	-7.6	-3.8	-6.3	-5.3



《都との比較にみる本校の状況》

- ・全体的に東京都の平均値と概ね同程度となっている。
- ・国語の読む能力の正答率が平均正答率より2.7%高い値を示している。
- ・数学の技能と知識・理解の正答率が平均正答率よりそれぞれ、2.7%、2.9%高い値を示している。
- ・理科の技能の正答率が平均正答率より1.1%高い値を示している。
- ・英語では表現の能力と知識・理解の正答率が平均正答率よりそれぞれ7.6%、6.3%低い値を示している。

《授業改善のポイント》

- ・生徒自身が主体的に課題を見つけ、調べ、話し合い、発表するなどの学習を積極的に取り入れていく。
- ・各教科で基本的な知識や基本的な技能の習得を徹底する。数学の授業では基本的な計算練習、英語では単語習得、国語科では漢字練習など、授業の始め等に練習をさせる。また、本校で実施している計算・漢字・スペリングコンテストをさらに充実させる。
- ・社会では基礎的な事項の定着をはかるとともに、話し合いの時間を多くし、思考・判断・表現の力を育成する。
- ・理科では技能が高いことから、実験と基礎的事項の結びつきや実験後の考察に重点をおいていく。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・生徒自身が何を課題としているか、三者面談などを通して家庭でも認識できるようにする。
- ・家庭学習の大切さを理解させ、学習時間の増加を呼びかけ、定着をはかる。
- ・宿題や課題の提出を徹底させるため、家庭との連絡・連携を密にしていく。
- ・生徒自身が自分で調べて学習するため、学校図書館だけでなく、地域の図書館とも連携をはかっていく。